

2018年3月期 第3四半期決算説明資料

2018年1月19日



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

P3 第3四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第3四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 従業員の状況

【不動産事業】

P9 第3四半期 損益計算書

P10 第3四半期 連結貸借対照表

P11 通期予想進捗状況

P12 資産及び事業の取得について

P13 子会社の異動について

第3四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	10,238	100.0%	12,347	100.0%	82.9%
営業利益	654	6.4%	1,071	8.7%	61.1%
経常利益	675	6.6%	1,085	8.8%	62.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	486	4.8%	728	5.9%	66.8%

- パチンコホール業界は、引き続き収益面で厳しい状況が続いています。昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます
- 当社グループでは主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの拡販や、異業種向けのプリンティング事業の営業強化により収益の底上げに努めました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んで参りました
- 結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,238百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は654百万円(同38.9%減)、経常利益は675百万円(同37.8%減)、親会社に帰属する四半期純利益は486百万円(同33.2%減)となりました

□当第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	10,130	50	58	-	10,238
セグメント利益	991	23	▲91	▲268	654

□前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲2,053	▲55	0	-	▲2,108
セグメント利益	▲306	▲28	▲77	▲4	▲417

○ パチンコホール広告および不動産事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で2,108百万円減となり、全社調整額の削減や固定費の削減を進めたものの、セグメント利益は417百万円減となりました

第3四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	10,130	12,184	83.1%
営業費用	9,139	10,887	83.9%
セグメント利益	991	1,297	76.4%

外部環境>

- パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続
- 新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況

当社の取り組み>

- 自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販
- 異業種向けプリンティング事業の営業強化を推進
- 受注プロセスの見直しによる合理化・省力化を進め、固定費の抑制に注力

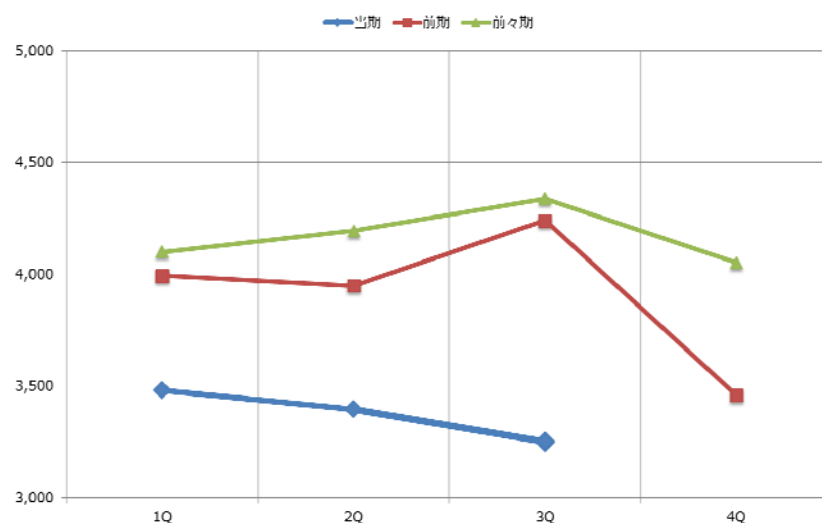
結果>

- 当社の取り組みは一定の効果あげたものの、急激な需要の減少の影響を相殺するには至らず、売上高は10,130百万円(前年同期比16.9%減)、セグメント利益は991百万円(同23.6%減)となりました

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	3,482	3,396	3,252	—	10,130
前期	3,994	3,949	4,241	3,459	15,643
前々期	4,100	4,194	4,338	4,052	16,684



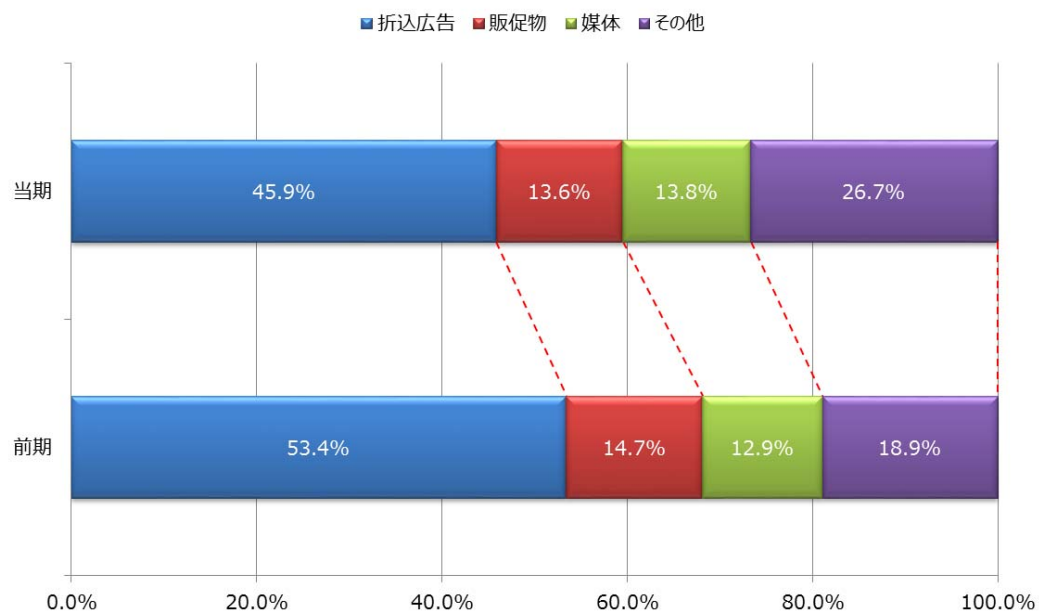
○当3Qにおける広告事業の売上高は前年同期に比べ、989百万円減少しました

○例年3Qは売上高が増加する傾向にありましたが、当期においては、新台入替の頻度減少による広告需要の大幅な減少や、広告予算の削減、年末の新規出店減少による大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響し、例年より低調に推移しました

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
折込広告	4,646	45.9%	6,509	53.4%	71.4%
販促物	1,379	13.6%	1,792	14.7%	77.0%
媒体	1,400	13.8%	1,575	12.9%	88.8%
その他	2,703	26.7%	2,306	18.9%	117.2%
	10,130	100.0%	12,184	100.0%	83.1%



○ 主として入替告知需要の減少により、パチンコ広告事業の主力メディアである「折込広告」が、前年同期比で1,862百万円と大幅に減少した結果、構成比も7.5ポイント低下しました

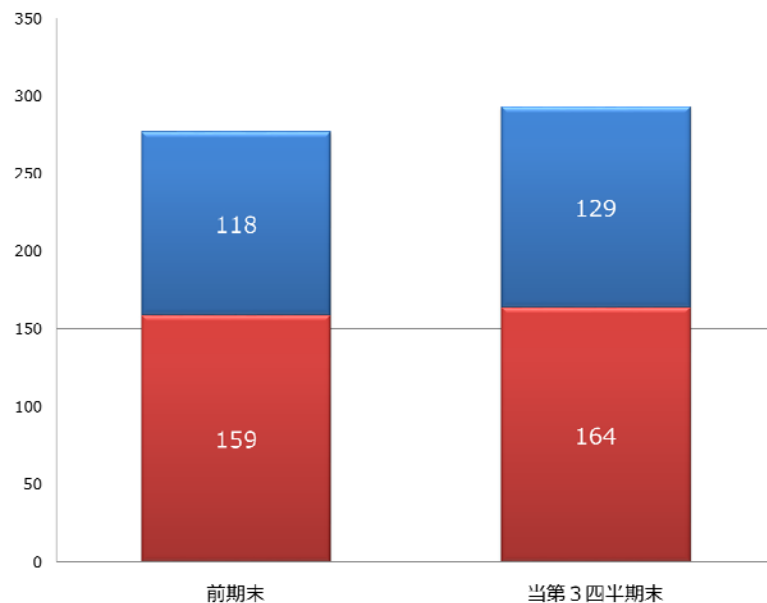
○ 「その他」については、インターネット広告の拡販により、売上高・構成比ともに増加しました

従業員の状況(広告事業)

(単位：人)

	前期末	当第3四半期末
販管費【営業・管理】	159	164
売上原価【クリエイティブ】	118	129
広告事業計	277	293

■ 販管費【営業・管理】 ■ 売上原価【クリエイティブ】



○ 営業・管理：インターネット広告部門、及び求人広告部門の増強

○ クリエイティブ：連結子会社において、非正規雇用の社員を正社員登用

○ 結果、前期末と比較して16名増加となりました

第3四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	50	105	47.6%
営業費用	27	54	49.6%
セグメント利益	23	51	44.7%

○ 昨年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、賃貸物件仲介案件(12百万円)を成約いたしました

○その結果、不動産事業の売上高は50百万円(前年同期比52.4%減)、セグメント利益は23百万円(同55.3%減)となりました

第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当3Q末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	4,374	3,665	▲708
受取手形・売掛金	1,870	1,947	77
その他流動資産	515	337	▲178
有形固定資産	681	940	259
無形固定資産	107	130	23
投資その他資産	781	835	54
資産合計	8,330	7,858	▲472
支払手形・買掛金	1,132	1,133	1
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	540	240	▲300
未払法人税等	239	7	▲232
その他流動負債	188	234	46
長期借入金	760	605	▲155
その他固定負債	33	32	▲1
負債合計	2,893	2,253	▲640
株主資本	5,387	5,498	111
その他	49	106	57
純資産合計	5,436	5,604	167
負債・純資産合計	8,330	7,858	▲472

①納税、配当、固定資産取得等による現金及び預金の減少

②連結子会社におけるスロットマシンの取得等による増加

③借入金の返済による減少

③借入金の返済による減少

④四半期純利益+486百万円、配当△376百万円

⑤連結子会社への非支配株主による増資+112百万円

通期予想進捗状況

(単位：百万円)

	2018年3月期 3Q実績	2018年3月期 通期予想 ※2017年 10月13日発表	進捗率
売上高	10,238	14,000	73.1%
営業利益	654	900	72.7%
経常利益	675	900	75.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	486	600	81.0%

- 当第3四半期連結累計期間における連結業績は、概ね修正後の計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正していません

資産及び事業の譲受について

資産譲受

当社は、2017年11月15日にニフティ株式会社との間で、同社が運営するパチンコファン向けサイト「777@nifty」の資産譲渡契約を締結し、2017年12月1日より新たに「777(スリーセブン)」の名称で運営を開始しております

- 業界老舗サイトとしてパチンコファンの知名度も高い同サイトの取得により、
- 複数サイト運営による広告チャンネルの拡大
- 当社運営のファン向けポータルサイト「パチ7」と異なるファン層の獲得などが可能となり、両サイトが共存することによる相乗効果を期待しています



事業譲受

当社は、2017年11月15日にニフティ株式会社との間で、同社が運営する「@niftyスポーツクラブ」の事業譲渡契約を締結し、2017年12月1日より新たに「@FIT Search」の名称で運営を開始しております

この事業譲受により、シニア層を中心とした健康志向の高まりを受け、今後さらなる成長が見込まれるフィットネス関連分野において、これまで当社がアミューズメント業界で培ったエリアマーケティングやインターネット広告手法を活用した集客提案に取り組むことで、シナジー効果の発現を目指してまいります



香港連結子会社の株式譲渡

○ 当社は、2017年11月10日開催の取締役会において、当社の香港連結子会社であるGendai R1 Limited(以下、GR1社)及びGendai Agency HK Limited(以下、GAHK社)の全株式をそれぞれ海外事業者、海外投資家に譲渡することを決定し、2017年11月10日及び12月22日にそれぞれに売却いたしました

○ GR1社は香港における飲食事業のテストを実施するために設立し、これまで約3年にわたりテスト運営してまいりました。開業以来、業績は改善傾向にありましたが、当期に入ってから急激に悪化し、様々な改善策を講じたものの、最終的にこれ以上の事業の立て直しは困難と判断し、売却を決定いたしました

○ GAHK社は、2012年9月に主に中国及び東南アジア諸国における広告、アミューズメント、外食等の事業調査・研究を目的とし設立いたしました。2017年2月に東南アジア諸国のゲーミング業界への参入を図ることを目的として設立した、GDLH Pte Limitedへの経営資源集中を目的として売却いたしました

子会社の合併(簡易・略式合併)

○ 当社は2017年8月18日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ジュリアジャパン(以下、JJ社)が、JJ社の完全子会社である株式会社エリーディー(以下、LED社)を吸収合併することを決議し、2018年10月1日に合併いたしました

LED社は、Webアプリ等の開発を主たる事業とする会社であり、映像、Web、デザイン制作を主たる事業とするJJ社と経営資源の一体的運用が、当社グループ経営の観点から合理的であると判断いたしました。これにより、JJ社を存続会社とし、LED社は2017年9月30日をもって解散いたしました

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

•IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334